

### 県南S-1グランプリ in たいしん 県南地方自慢のご当地グルメ対決

5月24日、市の合併10周年と大信商工会青年部40周年を記念し、県南地方のご当地グルメナンバーワンを決める「県南S-1グランプリ in たいしん」が大信総合運動公園（大信上新城）で開催されました。

ご当地グルメは、県南地方9商工会青年部が持ち寄り販売したもので、来場者による投票の結果、白河高原清流豚を使った「とんぼう」が1位に輝きました。そのほかにも、沖縄県のレゲエバンド「SOUTH」のライブが行われるなど、会場は大いに盛り上がりました。



▲にぎわいをみせる会場

### 親子で体験ニュースポーツ教室 スポーツを楽しみながら親子の絆を深める

6月13日、信夫一小で「親子で体験ニュースポーツ教室」が開催されました。

この教室は、市スポーツ推進委員会の支援により、「子どもをはぐくむ地域実践プロジェクト」の一環として行われたもので、スカットボール、カローリング、ゴルフパット、フライングディスクストラックアウトの4種のニュースポーツが紹介されました。参加した親子は、得点を競い合う種目のなかで、お互いに応援するなど、それぞれの種目を楽しみました。



▲スカットボールに挑戦する参加者

### 暮らしのガイドブック協働発行事業協定締結式 (株)ゼンリンと暮らしのガイドブックを作成

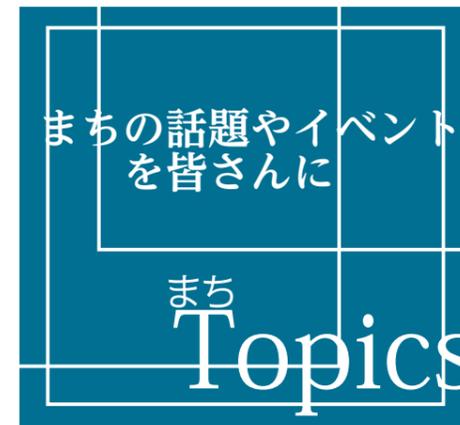
6月2日、合併10周年の記念事業として、市と(株)ゼンリンが協働で発行する「白河市暮らしのガイドブック」協定締結式が市役所で行われました。

協定には、市が掲載情報の提供を、(株)ゼンリンが広告の募集をし、ガイドブックを作成することなどが定められています。

5年ぶりに作成するガイドブックには、最新の行政情報や(株)ゼンリンの特徴をいかした地図情報を掲載し、11月頃に各世帯に配布する予定です。



▲協定書を掲げる鈴木副市長と(株)ゼンリン新田所長(左)



▲真剣にお茶をたてる生徒

### 高校生茶道部茶会 市内の高校生がお点前を披露

5月31日、翠楽苑（南湖公園内）の開園20周年を記念し、市内の高校生による茶道部茶会が開催されました。

「松楽亭」では白河高の生徒が、「野点」会場では白河旭高と白河実業高の生徒が、日ごろの部活動で磨いたお点前を披露しました。茶道部員合わせて約50人が来場者をもてなし、生徒たちは、「とても緊張しましたが、心地良い疲れで楽しかったです」など満足した表情で感想を話しました。

また「秋水庵」では、白河茶道連盟の江戸千家川崎社中による茶席が開かれました。来園者はお茶とお菓子をいただきながら、茶会の作法と新緑の庭園を眺め、ゆっくりとした時間を過ごしました。



▲20周年を迎えた新緑の翠楽苑

### 福島県しらかわ地域企業展示交流会 地元企業が自社の製品等を紹介

6月16日・17日、企業間交流の促進や高校生への企業紹介を目的に、地元企業43社による「福島県しらかわ地域企業展示交流会」が中央体育館（北中川原）で開催されました。

会場に設けられた企業ごとのブースでは、技術力の優れた自社製品を展示や映像等で紹介しながら、企業間で商談や意見交換をする姿が見られました。また、就職を控えた地元高校生が各ブースを訪れ、企業の情報収集等を積極的に行っていました。



▲多くの来場者でにぎわう会場